



大地のけやき

校訓 自主自律

学ぶ意欲 思いやる心 行動する力

学校教育目標

気づき 考え 実行する心豊かな生徒

生徒数 416名 1年 142名 2年 130名 3年 144名

命の大切さについて改めて考える

先日、3年生に「命の講座」を行いました。赤ちゃんが生まれるまでの大変な苦勞や、これまで慈しみ育ててくれた父や母への感謝の気持ちを、体験を通して学ぶことができたと思います。本来なら若いお母さんやお父さんに赤ちゃんを連れてきていただき、生徒たちが赤ちゃんをあやしたり、抱っこしたりする微笑ましい場面が見られたのですが、コロナ禍ということもあり、それは叶わず、残念でした。



今回の「命の講座」の取組を通して、「命」とは何か、改めて考えてみました。「命」は一度失ってしまえば、二度と取り戻せない、かけがえのないものです。そのことを私たちは決して忘れてはなりません。今から38億年という途方もない大昔、この地球上に「命」が誕生したといわれています。長い長い時間をかけて様々な進化を遂げて、私たちは今を生きています。しかし、「命」には限りがあり、いつかは「死」を迎えなければならないのも厳然たる事実です。だからこそ、私たちは限りある「命」を大切にしなければなりません。



命は、厳かな自然の摂理の中で誕生し、いずれはなくなります。皆さんはこれまで理科や保健体育の授業の中で、そのことを学んできました。先ほど述べたことと矛盾するようですが、私たちは他の生き物の命をいただくことでしか自分の命を永らえることはできません。だから、私たちは肉や魚、野菜などを食する前には、「いただきます。」とその命に感謝して食事をします。今、給食の時間は、班で楽しく食事することができず、全員が同一方向を向いて食べる「黙食」の時間です。新型コロナウイルスの感染予防のために、本来の楽しい給食とは違っていますが、「命」をいただくことへの感謝の気持ちは失わずにいてほしい、そう思っています。

「命」を大切にするという事は、「慈しむ」ということです。父母から受け継いだ大切な、かけがえのない自分の命を大切にすると同じように、家族や身の周りの友達のこと、思いやりの心をもって大切に思ってください。世界中に目を向ければ、日々大変で困難な環境の中で生きていかなければならない人たちもいます。そうしたことにも考えを巡らして、これから一人の人間としてどのように生きていくべきか、命を大切にすることはどういうことか、考えられる人間になってください。寺尾中の皆さんには命を慈しむことのできる生徒になってほしいといつも思っています。

最後に、山本有三が書いた『路傍の石』という物語の中に出てくる言葉を皆さんに贈ります。

「たったひとりしかいない自分を、たった一度しかない一生を、
本当に生かさなかつたら、人間生まれてきたかいがないじゃないか」

12月の行事予定

1	水	
2	木	1・2年期末テスト① PTA あいさつ運動(2・3)
3	金	1・2年期末テスト② 読み聞かせ(3年)
4	土	
5	日	
6	月	読み聞かせ(1年・もみの木)
7	火	学年朝会(含表彰)
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	PTA役員決め
12	日	
13	月	民生児童委員等との連絡会
14	火	学年朝会(1年) 読み聞かせ(2年) ↑
15	水	学年朝会(2年) 3年清掃班長会議 ↑
16	木	3年三者面談 ↑
17	金	学年朝会(3年) 歯科保健指導(1年) ↓
18	土	
19	日	
20	月	修学旅行保護者会 ↓
21	火	
22	水	給食最終日 学年集会
23	木	学年集会・学活・大掃除
24	金	終業式
25	土	
26	日	
27	月	冬季休業日
28	火	
29	水	閉庁日(～1/3)
30	木	
31	金	

※詳細な日程・予定等は各学年だより等を参照下さい。

表彰の記録

- ◆川越市中学校駅伝競走大会

女子 準優勝	区間 5位
	3位
	4位
	1位
	3位
男子 第4位	2位
	4位
	4位
	3位
	5位
- ◆第12回いっしょに読もう！新聞コンクール
努力賞
- ◆アンサンブルコンテスト西部地区大会
銅賞 打楽器四重奏
- ◆入間地区児童生徒発明創意くふう展
優良賞
- ◆入間地区人権標語
入選
- ◆安全で安心なまちづくりをめざした防犯ポスター
入選
- ◆市民体育祭陸上競技新人戦代替大会

男子100m	1位
男子200m	2位
男子800m	2位
男子走高跳	2位
女子400R	1位

◆第56回郷土を描く児童生徒美術展

入選

男子400R 2位

◆身障者福祉のための第63回県児童生徒美術展

入選

HP用のため、氏名等の掲載は
していません

※スペースの都合上、他の表彰者は次号で紹介します。